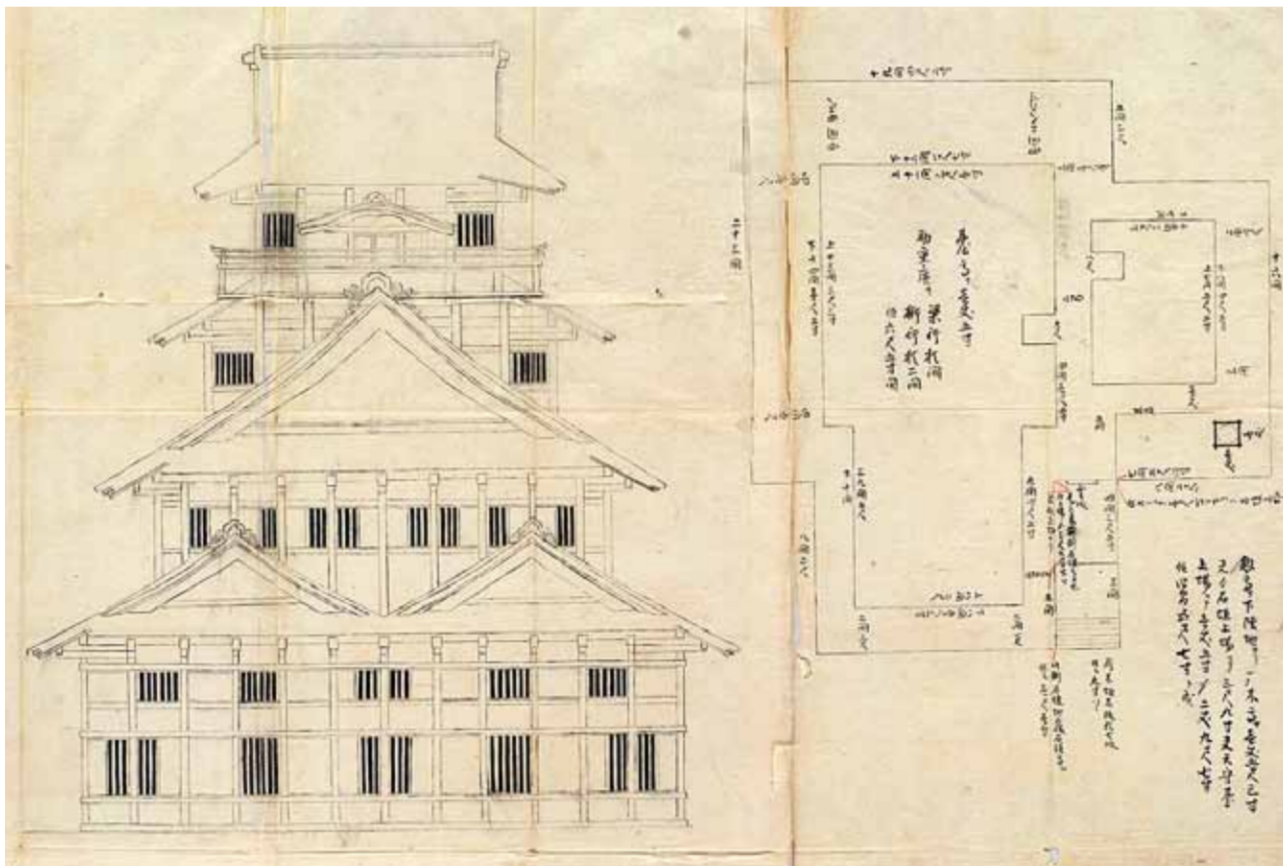


文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲「御天守絵図」(部分) 1669年(寛文9)以前 松平文庫(福井県文書館保管) A0143-21361

第27号 目次

特集1「松平文庫」文書館へ移管	2
特集2「デジタルアーカイブ福井」の稼働	3
特集3 ボランティア活動	4
歴史的公文書紹介「歴史的公文書でふりかえる「平成」」	6
寄贈資料紹介	7
お知らせ	8

第27号

2019.12

福井県文書館

「松平文庫」文書館へ移管

1950年（昭和25）10月以来、福井県立図書館に寄託されてきた「松平文庫」が、2019年（令和元）11月に文書館へ移管されました。これを機に文書館では同文庫資料の常設展示を行い、「デジタルアーカイブ福井」への画像の登録、資料叢書の刊行などの利活用を進めていきます。

1. 福井藩・越前松平家伝来の資料群

福井藩・越前松平家に伝来した資料は、現在、4文庫に分かれて各機関に収蔵されています。

○松平文庫 [福井県文書館保管] 約12,000点

松平家福井事務所に疎開、保管されていた資料。福井藩史料、国書・漢籍。

○越葵文庫 [福井市立郷土歴史博物館保管] 約3,000点

松平家東京本邸に収蔵されていた資料。美術工芸品および歴代当主の遺品・遺墨・記録。

○越国文庫 [福井市立図書館所蔵] 約15,000点

福井藩校（明道館・明新館）の蔵書。国書・漢籍・英書・蘭書。

○福井市春嶽公記念文庫 [福井市立郷土歴史博物館所蔵] 約6,000点

松平子爵家に伝来した慶永（春嶽）関係資料。春嶽の日記・記録・著作、大名・藩士等の書簡。

2. 松平文庫の保存と利活用

保存 1950年（昭和25）の寄託当初、福井市宝永3丁目にあった県立図書館に収蔵されましたが、1981年（昭和56）の図書館の新築・移転にともない福井市城東1丁目に移されました。2003年（平成15）福井市下馬町での新県立図書館・県文書館の開館以降は、文書館棟にある貴重書庫内で温湿度等を管理しながら保存しています。

目録・デジタルアーカイブ 県立図書館が1968年（昭和43）に『松平文庫目録』、1989年（平成元）に『松平文庫福井藩史料目録』を刊行しました。2013年（平成25）からは「福井県文書館・福井県立図書館デジタルアーカイブ」に目録データと一部の画像を登録し、2019年からは「デジタルアーカイブ福井」にリニューアルして公開件数を増やしています。また現在、文書館閲覧室では藩史料を中心に約1500冊の複製本（県立図書館作成分を含む）を利用できます。

展示 これまで県立図書館で開催してきた松平文庫テーマ展を文書館に移して常設とし、あわせて企画展示「あらためまして松平文庫展」を2019年10月25日～12月18日の期間に開催しました。

出版・データ公開 人事資料である「剥札」「士族」「子弟輩」等の翻刻を福井県文書館資料叢書『福井藩士履歴』（既刊7冊）として刊行しており、現在は「新番格以下」の刊行に取り組んでいます（全6冊を予定）。あわせて「越前世譜 茂昭様御代」「御側向頭取御用日記」「御書翰」「御来翰」の全文翻刻や細目録データを「幕末福井関連資料データ」として文書館ホームページで公開しています。



▲松平文庫の目録

▼企画展示ポスター



3. 「デジタルアーカイブ福井」の展望

現在、「デジタルアーカイブ福井」では、福井藩・越前松平家伝来の資料群のうち目録データが登録されているのは松平文庫だけですが、2020年3月末をめぐりに越国文庫の全目録データ2,367件、越葵文庫の「家譜」2種280件の目録データを登録、公開する予定です。このうち越国文庫については225件・約38,000コマ、越葵文庫については278件・約18,000コマの画像データもあわせて公開します。

特集 2

「デジタルアーカイブ福井」の稼働

これまで「福井県文書館・福井県立図書館・福井県ふるさと文学館デジタルアーカイブ」として運用、公開してきたデジタルアーカイブを、2019年4月からの新システム更新にあわせ「デジタルアーカイブ福井」にリニューアルしました。

<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/>

新たな機能、変更点は次の通りです。

1. 資料種別の追加

・デジタル資料

福井県庁・出先機関で刊行した行政刊行物のPDF版を登録しています。また、図書館OPAC（蔵書検索システム）と一体的に検索・閲覧できるようになりました。

・古典籍等

図書館で所蔵する貴重図書、松平文庫の国書・漢籍が検索・閲覧できるようになりました。



2. 新機能の追加

画像データをダウンロード、印刷できるようになりました。

3. 人物文献索引の追加

これまで図書館システムで公開してきた福井県ゆかりの人物に関する文献索引データベースを「デジタルアーカイブ福井」に統合しました。

ボランティア活動

文書館では、「福井県文書館ボランティア設置要綱」を策定し、ボランティア活動に取り組んでいます。今年度、この要綱を改定し、ボランティア活動にさらに力を入れています。

ボランティア活動に力を入れることで、文書館業務について高い関心と意欲を持つ方々に対して、さらなる技能向上をめざす機会を提供するとともに、「共動 (Do it together)」活動を通して文書館の事業を推進します。

1. ボランティアの活動内容

文書館のボランティアの活動内容は以下のとおりです。

- (1) 古文書を含む文書等の翻刻のための下原稿作成、入力、校正等。
- (2) 古文書を含む文書等の整理、目録化、デジタル化等。
- (3) 文書館の展示および講座の準備等にかかる補助。

これらのうち、(1)と(2)の活動を主に行っています。今後は(3)の活動にも力を入れていく予定です。

2. 文書館でボランティア活動するには

文書館でボランティア活動に参加するには、文書館が主催するくずし字講座や読解講座、その他のくずし字の判読にかかる講座を受講することが必要です。これは、活動の中でくずし字を判読する能力が求められるためです。

また、上記の講座に参加したことがなくても、くずし字を判読する能力が高ければ、ボランティア活動に参加することができます。

3. 講座とボランティア

文書館では現在、くずし字の判読にかかる講座として、くずし字講座と読解講座を定期的で開催しています。

これらの講座の受講者から、積極的にボランティアを募集しています。

(1) くずし字講座

文書館収蔵の資料を教材に、くずし字の読み方を学ぶ講座です。

教材には江戸時代以前の資料に限らず、明治時代以降の教科書などの資料も積極的に用いています。

例年「入門編」(6月頃)「初級編」(10月頃)を各3回ずつ、合計6回開催しています。募集人数は「入門編」「初級編」とともに40名程度としています。

文書館でボランティア活動に参加している方の多くがこの講座を受講しています。



▲今年度のくずし字講座(入門編)の様子。

(2) 読解講座

くずし字講座からさらにレベルアップした内容の講座です。

毎月1回、原則として第4金曜日の午後に開催しています。現在は13名の方が定期的に参加しています。

資料を各自で予習し、自分に割り当てられた部分を音読し、その後参加者同士で質疑応答や意見交換を行います。

なお、この講座の成果は活字化し、データ化した上で、文書館のホームページで随時公開しています。



▲読解講座の様子。参加者同士の交流がしやすいように、机を口の字形式で設置。

4. 活字化ボランティアと資料整理ボランティア

文書館では活字化ボランティアと資料整理ボランティアが定期的に活動しています。

(1) 活字化ボランティア

古文書を含む文書等の翻刻のための下原稿作成、入力、校正を行います。毎月第2・第4金曜日に活動しています。

今年度は4名の方が活字化ボランティアとして参加しています。

活動の成果の例として、文書館のホームページで公開している「幕末福井関連資料データ」の「越前世譜 茂昭様御代 データセット」があります。



▲活字化ボランティアの活動の様子。翻刻されていない資料を読み合い、活字化。

(2) 資料整理ボランティア

古文書を含む文書等の整理、目録化、デジタル化を行います。毎月第2・第3・第4水曜日に活動しています。

今年度は9名の方が資料整理ボランティアとして参加しています。

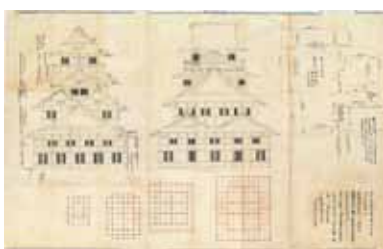
整理された資料は撮影やデータの入力、複製本の作製などを経て、展示やデジタルアーカイブで公開され、閲覧・利用できるようになります。



▲資料整理ボランティアの活動の様子。未整理資料を整理し、目録カードを作成。

■表紙写真■ 「御天守絵図」 1669年（寛文9）以前

松平文庫（福井県文書館保管） A0143-21361



結城秀康が築いた北庄城天守を描いた絵図です。2つの立体図は、右図が東西方向、左図が南北方向を示しています。

天守は、四重五階で天守台を含めた高さは約37mもありました。1601年（慶長6）から同11年の築城工事で造られましたが、1669年（寛文9）に焼失し、その後は再建されていません。

◆◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆◆

歴史的公文書でふりかえる「平成」

昨年度末の月替展示では、『さよなら平成』展」として、去りゆく平成の時代を「歴史的公文書」からふりかえる展示を行いました。

歴史的公文書の展示は、国立公文書館をはじめ全国の公文書館等で行われていますが、主に明治～昭和初期のものが中心です。本県のように比較的新しい平成時代の歴史的公文書を展示したのは全国でも例がありません。福井県文書館では歴史的公文書を収集した翌年には目録を公開しており、平成年間に作成された新しい歴史的公文書も閲覧可能（閲覧申請等については後述）ですが、一般の県民の方に少しでも公文書を知っていただく機会となるよう、初めて展示という形で公開したものです。

さて、「さよなら平成」展では、時代の変化が感じられるよう、平成時代につくられた県の施設や道路について紹介しました。また、堅苦しいものとならないよう、歴史的公文書については黒川紀章氏が設計した恐竜博物館の図面など比較的わかりやすいものを選ぶとともに、それ以外にもサンドーム福井で開催された世界体操選手権のポスターや、関連映画に出演した俳優陣のサインなどの資料も展示しました。

もちろん、歴史的に興味深い資料も紹介しました。例えば上の写真は昭和63年度に作成された舞鶴若狭自動車道に関する歴史的公文書ですが、当時は法定路線名である「近畿自動車道敦賀線」と呼ばれていたこと、全線を高速道路として整備することはかなり難しい状況であったこと、県はそれに代わる様々な整備パターンを検討しつつ、国土交通省や近畿地方整備局に対し地元国会議員を巻き込んだ要望活動を展開していたことなどが記録されています。そして、平成元年2月27日に舞鶴若狭自動車道的全線整備が決定（全線開通はさらに四半世紀後の平成26年7月20日）するのですが、当時の政治的な背景や、嶺南地域の発展には舞鶴若狭自動車道が必要だという県の熱意を読み解くことができる歴史的公文書です。日刊県民福井のコラム「新風」でも取り上げていただきました。



▲平成26年7月20日舞鶴若狭自動車道全線開通(広報課提供)



文書館で目録を公開している歴史的公文書は原則として誰でも閲覧可能ですが、個人の権利利益や、法人その他の正当な利益を害することがないように、閲覧申請後に審査を行い、閲覧できない部分を袋掛け等で隠す処理をします。このため、閲覧申請から実際に閲覧が可能となるまでには相当の日数（原則15日以内）がかかります。閲覧申請は、文書館の窓口のほか、遠方の場合は、郵送、FAX、メールでも対応していますので、文書館までご相談ください。

寄贈資料紹介

複製本ができたものから公開しています。

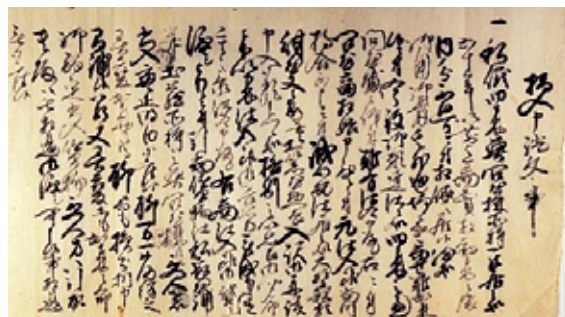
●池上芳三家文書 (E0064)

池上家は元々大柳姓を名乗り、中世には足羽郡一乗谷の朝倉家に仕えて魚問屋を務めていたと伝えられています。

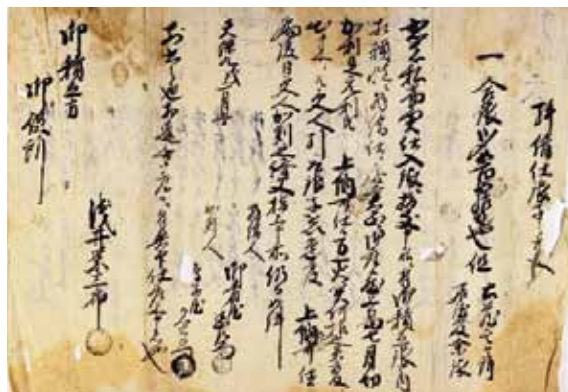
近世には府中領主本多家の御用魚問屋で御肴屋忠左衛門と称し、代々魚問屋を営み、昭和初期まで魚市場を経営しました。

明治期には大柳助三郎を名乗り、1865年(慶応元)生まれの栄治郎は、80年(明治13)には松村才吉・岩堀恒太郎・長谷川豊吉らと自由舎をつくり『慷慨新誌』を発刊、国会開設請願運動に関わりました。その後、82年(明治15)9月に結成された南越自由党に参加、北陸自由新聞の通信員として協力するなどして、明治前期の自由民権運動家として活躍しました。

84年(明治17)に池上家を継いだ以降は家業に専念し、かたわら小艇を号して詩作(漢詩)に勤しみました。



▲「指入申証文之事(魚問株再開、家屋敷等・株書入仕入銀借用二付)」 E0112-00172



▲「拜借仕銀子之事(銀2貫550匁)」 E0112-00181

新たに公開した古文書紹介

前号紹介後に新たに公開した資料群は以下の通りです。(寄贈・寄託資料は除く)

- A0029 森永与右衛門家文書 福井市

資料所在確認調査を行っています

文書館では現在、福井県史を編さんする際に調査を行った資料所蔵者の方を対象に、資料所在確認調査を行っています。

実施3年目となる今年度は、小浜市・おおい町・高浜町の3市町と福井県外で実施しています。来年度はあわら市・坂井市・勝山市・大野市で実施する予定です。

例年、対象となる所蔵者の方から多くのご回答があり、そのうち約70～80%の方から「資料は現在も大切に保管している」という回答を得ています。しかし一方で、「資料を処分した」「資料について分からない」という回答も一定数見受けられ、資料の散逸や滅失への対応が急務となっています。

また、この調査を機会として、各市町や当館などで緊急性の高い資料の調査や受け入れを進めています。

対象となる資料所蔵者の方には、郵送でアンケートを送付しますので、アンケートへの回答をお願いします。ご不明な点ありましたら、文書館までお問い合わせください。

文書館講座のご案内

■フィアラ先生の古典文学ゼミナール 『古事記』を読む

- ・第9回 1月18日(土) 13:30～15:00
- ・第10回 2月15日(土) 13:30～15:00
- ・第11回 3月21日(土) 13:30～15:00

講師：カレル・フィアラ（文書館古典文学顧問）
会場：文書館研修室 定員：40名（要事前申込）
※『口語訳古事記 神代篇・人代篇』（訳・注釈 三浦佑之、文春文庫）を用意して、受講してください。

■文書館ゆるっとーク

- ①「松平文庫に潜む忍者の話」
- ②「ゲームにでてくるふくいの刀剣」
- ③「明智光秀と戦国越前」
- ④「雪の柝ノ木峠越えのその先—ふくいの種痘—」

日時： ①令和元年12月7日(土)
②令和2年1月18日(土)
③令和2年2月15日(土)
④令和2年3月14日(土)

時間はいずれも16:30～17:30

講師：文書館職員（③のみ外部講師）

会場：図書館カフェテリア・文書館閲覧室

叢書発刊予定のお知らせ

今年度の『福井藩士履歴』8福井県文書館資料叢書16は、令和2年3月末ごろ発刊予定です。今回より「新番格以下」（藩士の中でも下級武士）を対象として準備を進めています。既刊資料叢書と同様に希望者には文書館閲覧室あるいは送料実費負担にて配布します。

ご利用案内

■開館時間

午前9時から午後5時まで

■休館日

月曜日（国民の祝日を除く）
休日の翌日（土、日、休日は除く）
文書等点検期間（年間10日以内）
年末年始（12月29日～1月3日）
清掃整理日（4月・7月・12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日）

■フレンドリーバス（無料）をご利用ください。



※フレンドリーバスのバス停は図書館の敷地内

編集後記

文書館だより第27号をお届けします。今号では松平文庫の文書館への移管とデジタルアーカイブ福井の稼働、ボランティア活動について特集しました。今後とも文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取組みを行っていきます。



文書館だより Fukui Prefectural Archives 第27号

2019年（令和元）12月13日発行

編集・発行／福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/index.html>

電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp



健康長寿の福井